

第3学年 社会科学習指導案（公民的分野）

- 1 単元名 私たちの地球をみつめて・環境問題とエネルギー
～日本は、原子力発電所を増やすべきである～

2 単元について

- 現代社会は、全世界で解決しなければいけない数多くの環境問題を抱えている。オゾン層破壊による紫外線、二酸化炭素の排出による地球温暖化、それによって起こる海面上昇や砂漠化・異常気象そして生態系の破壊など様々な問題が発生している。このような問題は、産業革命以降急激に進んだ工業化、エネルギー消費問題などが密接に関係している。

今後の世界は、ますますエネルギー消費量が高まることが考えられる。また、資源は無限にあるわけではない。その有限である資源をどのように有効活用するのか、また省資源・省エネルギーをどのように推進するのか、そして、いかに資源・廃棄物を循環して使用する循環型社会を形成していくかが求められている。環境には国境がなく、全世界がつながっている。今までのように自国の経済発展のみを重視するのではなく、国際的に協力し環境を考えた経済発展が必要不可欠になる。そこで、世界の環境問題とエネルギー問題を取り上げ、地球に住む人間の一人として、つまり地球市民の一員として自分の意見をもつとともに、主体的に考え判断できる力を育てていきたいと考えている。

- 本学級の生徒は、全体的に学級の雰囲気は明るく、社会科に対する取り組む興味・関心も高い。これまで、地理的分野の学習において、資源エネルギーと産業について、世界と比べた日本の特色については学習してきた。佐賀県は、玄海町に原子力発電所があるため、エネルギー問題に対する生徒の意識は高いと思われる。

また、毎回、授業の最初に5問テストを行っているために、基本的な知識は身に付いてきている。また、グループでの話し合い活動では、周りの考えを参考にできるため意欲的に活動する生徒が多くなってきている。しかし、明確に意見を述べ主張する場面になると、論点をまとめ相手に伝えることが難しく感じる生徒が多く、約半数の生徒が、資料を用いた問題や思考・判断し文章で答える問題を苦手と感じている。そこで論点を提示し、その資料を適切に読み取り判断できる力を育てていきたいと考えている。

- 指導に当たっては、次の3点について配慮したい。①世界の環境問題や国際的な対応について理解し、地球市民の一員としての在り方について考えさせる。②地球環境や資源・エネルギーについての課題点を探し出す。③環境保全と資源・エネルギーの開発の面から、地球市民の一員として生きるために、今後の望ましい世界の姿について考えさせる。以上のことについて、資料を分析し、生徒の思考力や判断力を広げたり高めたりし、多様な価値に気付かせたいと考える。そこで、授業過程を充実させるために、最初に適切な資料を準備し、それを基に分析を行い個人で判断する場面を設定する。次に、グループ討議で意見を出し合い、多様な考えに触れる場面を設定し、全体へ広めていくなど、グループ活動の工夫を図る。そして、価値判断の根拠を明らかにするために、理由を明確にさせ、価値や目指す社会像について文章化して表現できるようワークシートを工夫し、価値判断能力を育成したい。

3 単元の総括目標

世界の環境問題やこれに対する国際的な対応を理解させるとともに、世界でのエネルギー事情などについて知識を身に付けさせる。さらに、地球環境の保全と資源・エネルギーの開発と利用について、多面的・多角的に追究させることで、世界の環境問題やエネルギー事情について考察し、適切な資料を選択・分析し、考察した過程や結果を分かりやすく述べるようにさせる。

4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象に についての知識・理解
地球環境、資源・エネルギー問題について、将来を担う地球市民の一員として、課題を自ら探し出し意欲的に取り組もうとする。	地球環境の保全と資源・エネルギーの開発と利用について、多面的・多角的に追究することで、世界の環境問題やエネルギー事情について考察することができる。	地球環境、資源・エネルギー問題について、適切な資料の収集・分析をし、学習に役立つ情報を基に、考察した過程や結果を分かりやすくまとめ説明することができる。	世界の環境問題やこれに対する国際的な対応の重要性に気付き、世界でのエネルギー事情などについて地球規模での努力が必要であることを理解している。

5 単元の指導計画（全7時間）

	学習活動	教師の指導・支援	評価【評価方法】	時配
1	地球規模で広がる環境問題を知る。	世界のどこでどんな環境問題が起きているか、またその原因は何か調べさせる。	世界の環境問題について理解している。 【ワークシート】	1
2	地球温暖化の影響について調べる。	温暖化の原因とその影響について調べさせる。	温暖化について調べようとする。【ワークシート】	1
3	温暖化に対する国際的な対応を知る。	温暖化に対する各国の事情と対応の違いを知り、世界全体で取り組む問題であることを考えさせる。	環境には国境がないことに気付くことができる。 【ワークシート】	1
4	南北問題と環境問題の関係を知る。	経済発展と環境破壊がどのようにつながっているのか、また南北問題とどのような関係にあるのか考えさせる。	環境問題と経済問題は密接な関係にあることに気付くことができる。 【ワークシート】	1
5	地球とともに生きるために（全3時間） ①エネルギー開発と循環型社会について考える。	世界のエネルギー事情について調べ、循環型社会の必要性について考えさせる。	環境問題の身近な解決方法として、省資源・省エネルギーやリサイクルなどの推進が必要であることに気付くことができる。 【ワークシート】	1
6	②学習問題:「日本は、原子力発電所を増やすべきである」について1回目の意思決定をする。 【意思決定1】	6種類の資料を提示し、それを分析させ、ワークシートに個人で判断をさせる。 資料1：限られた資源と各国のエネルギー 資料2：原子力発電の安全性は保障できる？ 資料3：二酸化炭素排出量と温暖化への影響 資料4：どうする核のゴミ 資料5：賛成派の意見 資料6：反対派の意見	提示された資料を的確に分析し、資料を基に自己判断をすることができる。 【ワークシート】	1

7	③学習問題:「日本は、原子力発電所を増やすべきである」について2回目の意思決定をする。 【意思決定2】	前時の資料分析を基に、グループで「賛成」「反対」それぞれの理由や目指す社会像を出し合わせ、価値を広め個人による判断へとつなげる。	グループでの話し合いを基に最終判断をすることができる。 【ワークシート】	1 本時
---	--	--	---	---------

6 本時の目標

分析した資料やグループでの話し合いを基に、多面的・多角的に考察した過程や結果を説明することができる。
【社会的な思考・判断】

7 本時の展開 (7/7)

学習活動	教師の指導・支援 (○) と【評価】
1 前時の学習を復習する。	○ 前時に分析した資料の確認をさせる。
2 本時の学習問題を知る。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">日本は、原子力発電所を増やすべきである</div>	
3 自分の主張を出す。	○ それぞれの立場の人数を確認する。
4 学習問題を解決する。 (1) グループで意見を出し合い、主張(仮説)を立てる。	○ 「賛成」と「反対」両方の意見をグループの中で出し合わせる。 ○ 根拠を基に、「賛成」と「反対」の主張を比較することにより、両面(違う立場)の価値に気付かせる。
[予想される主張]	
賛 成	反 対
<ul style="list-style-type: none"> ・ 二酸化炭素を排出しないので地球温暖化を防ぐことができる。 ・ 再処理によって半永久的に利用することができ、資源を確保できる。 ・ 残された資源や環境のことを考えていくことが大切である。 ・ エネルギー消費量を考えると、原子力発電が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の処理に何十年も掛かり、結果的に環境によくない。 ・ 事故が起きると放射能の問題があり、安全性の保障ができない。 ・ 建設費に膨大な費用が掛かる。(2000億円) ・ 自然エネルギーの開発を進めるべきである。 ・ 資源を無駄使いしない生活を心掛けるべきである。
(2) 「賛成」と「反対」それぞれの主張をまとめ、発表をする。	○ 話し合いの中で出てきた主張をワークシートに記入させ、発表させる。
(3) 目指す社会像について考える。	○ それぞれの主張は何を大切にすることになるのか、またどんな世の中になるのか考えさせ、「賛成」と「反対」それぞれの目指す社会像について考えさせる。

[予想される目指す社会像]	
賛 成	反 対
<ul style="list-style-type: none"> ・ 温暖化を防止する社会 ・ 確実にできれば地球に優しい社会 ・ 資源を無駄にせず健康な社会 ・ 未来の環境を考えた社会 ・ 空気を汚さない社会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全性の高い社会 ・ 省エネに努める社会 ・ 自然エネルギーに頼る社会 ・ 代替エネルギーによる環境を考えた社会 ・ 新たな発電を開発する社会
(4) グループでまとめた目指す社会像について発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合いの中で出された目指す社会像をワークシートに記入させ、発表させる。 ○ 多様な価値に気づき、さらに、自分の考えを深めさせる。
5 「日本は、原子力発電所を増やすべきである」について2回目の意思決定をする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料で判断したことやグループで話し合ったことを参考にし、「日本は、原子力発電所を増やすべきである」について自分の主張をまとめさせる。その際、これからの日本はどうあるべきか考えさせ、ワークシートに記入させる。 ○ 分析した資料と提示された意見を参考に2回目の意思決定をさせる。

【評価】

8 本時の評価

評価規準	分析した資料と周りの意見を参考に、最終判断を明確に主張することができる。 【社会的な思考・判断】		
評価の基準 →支援	A	B	C
	それぞれの主張を比較し、多面的・多角的にとらえ、資料から考えられることを踏まえ、簡潔に主張することができる。	それぞれの主張を比較し、資料から読み取れることをまとめ、簡潔に主張することができる。 →「増やす」と「増やさない」の両方の考えをとらえ、よりどちらの方がよいか資料を基に主張させる。	Bに達していないもの (例) 最終判断と理由付けが簡潔に述べられていない。 →最終判断を再確認させ、資料の活用の仕方を理解させ、周りの意見を参考にさせる。
評価方法	ワークシート（最終判断）		